KAWASAKI CLUB NEWS

2013 JUNE　vol.12

第　12　号

発行：KAWASAKI CLUB
住所：倉敷市松島577番地
（川崎学園内本館棟8階）
電話：086-464-1546
Eメール：
club@med.kawasaki-m.ac.jp
ホームページ：
http://www.kawasaki-m.ac.jp/club

「巻頭言」

学校法人 川崎学園 理事長　川﨑 誠治

平成19年に設立されたKAWASAKI CLUBは今年7年目を迎え、川崎学園の卒業生や退職者の数は現在3万7,000人に達しています。生涯学習・生涯教育の場として「KAWASAKI CLUB NEWS」やホームページ、本館棟8階の専用ラウンジ等を通して、最新の医学・医療・福祉に関する情報を発信してきました。多くの皆様がKAWASAKI CLUBを活用してくださっていることを大変嬉しく思います。

さて、平成28年の附属川崎病院新築移転に向け、岡山中央南（旧深柢）小学校校舎の解体と埋蔵文化財発掘調査が今秋には完了し、その後本工事に着工の予定です。地上15階地下2階の建物で、ベッド数は約700床、外来患者さんも現在の倍以上を想定しています。

新病院では、地域住民の方が安心して暮らせる24時間体制の救急医療、がん治療など最先端の医療を提供する高度専門医療、患者さんの早期社会復帰を図るリハビリテーションの3本を柱としています。岡山市中心部に位置する総合的な医療機関として、今まで以上に地域に密着し、どのような患者さんが来られても診察できる総合医を育てることを目指しています。

本年は、附属病院、医療短期大学、リハビリテーション学院が40年の節目を迎えます。医科大学、医療福祉大学、附属高校も含めた学園内各施設の連携の中で、チーム医療の担い手を育成したいと考えています。そして、「良き医療人の育成」への一環として、専門性の高い優秀な教員の確保と同時に、若手教員の育成に更に取り組んでまいります。

皆様には一層のご指導とお力添えをいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

岡山県知事賞を受賞、WLBの取組から

川崎学園ではWLB（ワーク・ライフ・バランス：仕事と生活の調和）への取組を総合的に推進させるために、平成21年12月に推進本部ワーキンググループを発足させました。現在、大学事務局、コ・メディカル部門、附属川崎病院の3グループで、働きやすい職場環境づくりを目指して様々な討議を重ねています。その活動の中から生まれた昨年12月の「子育て支援センター」設置など、これまでの取組が評価され、本年2月20日に『おかやま子育て応援宣言企業』岡山県知事賞*を受賞しました。

県知事賞贈呈式

子育て支援センターホームページ

一方、仕事面では、医師や看護師をはじめとする産休・育休明け職員や、一旦退職されたOBの方々に対して、復職演習や復職支援プログラムを臨床教育研修センター（本館棟11階東）で行っています。復職を検討されている方がおられましたら、ぜひお気軽にご相談ください。

一人ひとりが、仕事に、生活に、生涯を通していきいきと力を発揮していただけるように取り組んでまいります。

*平成24年度は当学園含め5団体が岡山県知事賞を受賞。『おかやま子育て応援宣言企業』は平成25年5月21日時点で513社

第39回 川崎学園祭

開催日 平成25年10月12日(土) 13日(日)

統一テーマ　メッセージ，

●**医学講演会**「気になる症状は画像でチェックしよう―よくわかる画像診断―」
10月12日(土) 13：30～15：00
講師：伊東克能　川崎医科大学 放射線医学(画像診断1)教授
川崎医科大学附属病院 放射線科(画像診断)部長

●**オープンキャンパス**　●**公開講座**

●**第7回ホームカミングデイ（医療福祉大学同窓会）**
10月12日(土)・13日(日)　川崎医療福祉大学3階レストラン

●**第2回松丘会ホームカミングデー（医療短期大学同窓会）**
10月12日(土)　川崎医療短期大学体育館西側・14：00～　体育館102教室

※ 各種イベント情報等は決定次第、学園祭HPでお知らせします。

平成24年、平成25年に新しく施設長に就任された先生方から、KAWASAKI CLUBへメッセージをいただきました。

KAWASAKI CLUB でおくつろぎください

川崎医科大学附属病院 病院長　**園尾 博司**

本年4月1日付で病院長に就任いたしました。良い病院づくりのために微力ながら全力を尽くす所存です。何卒よろしくご指導、ご支援のほどお願い申し上げます。

さて、当院は、今年でちょうど開設40周年を迎えますが、開設以来、「病院は患者さんのためにある」をモットーに、すべての患者さんのために安心・安全な医療を提供できるように努めてきました。また、高度医療を行う「特定機能病院」、「地域がん診療連携拠点病院」など、多くの役割も担ってきました。さらに、医学生や研修医を教育して良医を世に送り出す責務を果たしてきました。現在、附属病院では、約430名の医師と約900名の看護師のほか、約420名のメディカルスタッフが協力して、1日約1,700名の外来患者さんや約700名の入院患者さんの診療を行っています。この40年間、川崎学園を巣立った卒業生や川崎学園に勤務された教職員の方々に大変お世話になり、今日の附属病院の発展があります。

ところで、皆様は本館棟8階に「KAWASAKI CLUB」ラウンジがあるのをご存知でしょうか。本学園の卒業生や本学園に勤務された教職員の方々のためのラウンジです。平成20年6月に開設され、5年がたちました。サロン的な落ち着いた雰囲気のラウンジで、ゆったりと腰かけてくつろいでいただけます。本学園での学会や研究会、病院へお見舞いなどでお越しの際に、是非、お立ち寄りくださり、談笑や休憩にご利用ください。

最後に、皆様方の今後益々のご発展を祈念しますとともに、今後、より一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（平成25年4月1日就任）

新病院の完成に全力を尽くします

川崎医科大学附属川崎病院 病院長　**角田　司**

本年4月1日付で川崎医科大学附属川崎病院の病院長に就任しました角田司です。私は福島県立会津高等学校を卒業後、長崎大学医学部に入学し6年を過ごし、その後も長崎大学第二外科で修練し、消化器外科、特に肝胆膵を中心に研究・臨床に従事しておりました。その後、助教授を経て、平成5年7月に川崎医科大学消化器外科の教授に着任いたしました。教授として、臨床・教育・研究に力を注ぎ、15年9か月を過ごしました。そのうち6年間は川崎医科大学附属病院院長を兼務、続いて4年間は附属病院院長を専従し、計10年間を務めました。そして4月1日から、川崎医科大学附属川崎病院院長として現在働かせていただいております。

当附属川崎病院は、財団法人川崎医学振興財団が運営していた病院であり、学校法人川崎学園の設立の基となった病院でもあります。平成23年3月31日に財団法人川崎医学振興財団の解散を受け、同年4月1日、川崎学園の運営施設として、また、川崎医科大学の第2の附属病院として新たな出発をしました。

新病院イメージ図

現在の病院は、施設設備の老朽化、狭隘化が進んでいるため、現在地から南東約50メートルにある岡山中央南（旧深柢）小学校跡地に新築移転することが決定しています。新病院は、現病院の病院理念を継承して、「地域住民に信頼され安全・安心な医療を提供できる病院」を基本方針とし、地域の医療ニーズを踏まえ、救急・高度専門医療を中心とした質の高い医療を提供するとともに、将来の良き医療人を育成し、医療と教育の分野で地域に貢献したいと考えています。

（平成25年4月1日就任）

医療福祉連携の促進

川崎医療福祉大学 学長　椿原 彰夫

川崎医療福祉大学は、世界ではじめての医療福祉大学として平成3年に開学し、22年目を迎えました。人類への奉仕のあり方を追求し、より豊かな医療福祉社会の創造的担い手を育成することを目的として、すでに14,602名の優秀な卒業生を世に輩出いたしました。開設当初は2学部6学科でスタートいたしましたが、現在3学部12学科（医療福祉学科、臨床心理学科、保健看護学科、感覚矯正学科、健康体育学科、臨床栄養学科、リハビリテーション学科、臨床工学科、医療福祉経営学科、医療秘書学科、医療福祉デザイン学科、医療情報学科）並びに、大学院（修士課程／博士後期課程）3研究科を有しています。

本学では医療と福祉をそれぞれ個別に捉えるのではなく、新しい概念である医療福祉学を学ぶことを必須としています。すなわち、医療職を目指す学生には福祉に関する学問を、福祉職を目指す学生には医療に関する学問を併せて学習することを強調しています。それによって、医療と福祉が切れ目なく連携できるようになり、患者さんや障がい者、小児、高齢者に最良の医療福祉サービスを提供することが可能となります。具体的には、川崎医科大学附属病院や社会福祉法人旭川荘での実習を通じて、より良い医療福祉連携の在り方を考えるよう教育しています。それによって、学生には深い人間愛をもった医療福祉人に育つことを願っております。

本学園を卒業して社会人となった皆様には、最新の医療福祉情報を交換する場であるKAWASAKI CLUBを有効に活用していただき、ご自身の生涯学習に加えて、私達教職員あるいは学生への叱咤激励の機会としていただければ幸いでございます。

（平成25年1月1日就任）

利剣でも切れない絆と川崎同窓クラブ

川崎医療短期大学 学長　山口 恒夫

私は先日、KAWASAKI CLUBのホームページに、“川崎学園の絆”と題した小話を掲載させていただきました。「今年、創立40周年を迎える川崎医療短期大学の卒業生が残した13,000有余の絆は、KAWASAKI CLUBで他施設の卒業生が残した絆に結びつく」というのが小話の趣意です。この小話を思い返しながらあれこれしているうちに、「執着の絆は利剣にても切られず」という諺が目に留まりました。「執着」は「強く心をひかれ、それにとらわれること」という意味ですし、「利剣」は「鋭利なつるぎ」という意味です。したがって、諺の全体では「離れがたいほどの情実は、どんな鋭利な剣でも断ち切ることができないものだ」というような意味合いになります。私は、KAWASAKI CLUB内に張り巡らされている執着の絆も、どんな利剣を使っても切れない固いかたい絆であると信じています。

ここで別の角度から“KAWASAKI CLUB”について、もう少し考えてみましょう。私はこの横文字を日本語に訳すと“川崎同窓クラブ”になると思います。“利剣でも切れない絆”で結ばれた卒業生が、自らに適した手段・方法を選んで、絶えず新しく生み出される技術や知識・教養について、生涯にわたる学習や情報交換の場として、“川崎同窓クラブ”を活用するのは、最も望ましい姿だと思います。

「血液が人体を循環するように、個人の全生涯にわたって学習を循環させよう」という至言があるようですが、まさしく“川崎同窓クラブ”はそのような学習の場になると思います。

（平成24年4月1日就任）

診療科紹介　消化器外科　附属病院

消化器外科はお腹の手術をする外科で、特に胃・腸・肝臓・胆道・膵臓のがんを主な対象としています。食道は主に胸にありますが消化器外科で治療しています。

食道や肝胆膵、直腸のがんは、治りにくいことに加えて手術の難度も高いのですが、これらのがんを、体に負担が少ないカメラを用いた手術で治療することも、我々の得意領域です。また、放射線や抗がん剤を組み合わせて、直腸がんで人工肛門になる患者さんを減らすことにも努めています。さらに、胆石やヘルニア（脱腸）といったがん以外の病気に対しても、体に負担が少ないカメラを用いた手術を多数行っています。

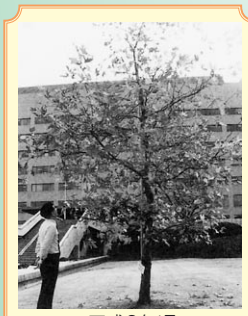
定期の外来診療日は、火曜日、木曜日と土曜日です。消化器外科専門医・肝胆膵高度技能指導医・内視鏡外科技術認定医、その他の各種専門医が診察いたします。食道・胃・腸・肝臓・胆嚢・胆管・膵臓の病気でお困りの際は、安心して受診ください。どうぞよろしくお願いいたします。

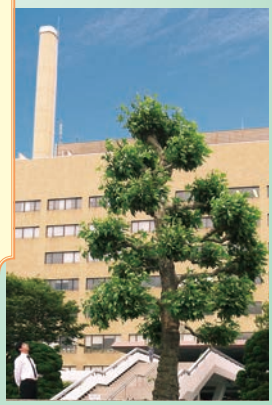
医局員・研修医とともに

学園エポック　ヒポクラテスの木

附属病院正面玄関の前庭に一対のプラタナス（和名 すずかけ）が植えられています。古代ギリシアの医聖ヒポクラテスは、故郷コス島のプラタナスの木陰で弟子達に医学や医の精神を説いたとされます。島には今もプラタナスの巨樹があり、「ヒポクラテスの木」として親しまれています。

学園創設者川崎祐宣先生は、緒方富雄東京大学名誉教授（当時）に依頼され、日本赤十字社中央病院（当時）がギリシャ赤十字から贈られ育てていた苗木を譲り受けました。昭和56年に3回目の移植でやっと根づき、大きく育った今では学園の象徴となっています。


平成3年頃


現在

拡大する医療保育のニーズ　医療短期大学

医療保育科は、平成17年4月にわが国で初めて、川崎医療短期大学に設置されました。夫婦共働きが増加し、小さなお子さんを預けて働く方々も増えています。しかし、小さなお子さんをお預かりすると、どうしても医療知識が必要となってきます。感染防止対策やその方法、予防接種や初期の救急処置、発達障がい児への対応などの知識も必要です。

当学科では、保育士や幼稚園教諭として必要な知識だけでなく、一般小児科の知識に加えて発達障がいも学習し、心肺蘇生の実地訓練も受けています。社会では幼保一体化など様々な変革がなされようとしていますが、今後も医療知識がますます要求されるようになり、社会からそれを持った保育士が求められていくでしょう。実際、卒業生は6年連続で100％の就職率を達成しました。また公務員採用数は5年連続2桁で、平成24年度卒業生（6期生）は21名（43％）でした。きっと将来、我々の卒業生がわが国の医療保育の世界をリードしていくものと信じています。

学科の今　医療介護福祉科　医療短期大学

法改正により、介護福祉士にも医療的ケアが認められるようになったことを受け、昨年度、科の名称を介護福祉科から医療介護福祉科へと変更しました。これに伴ってカリキュラムについても医療系科目を積極的に取り入れ、総合医療教育機関である学校法人川崎学園にふさわしい内容へと変更しています。

また、これまで卒業と同時に介護福祉士資格の取得が可能であったものが、平成26年度入学生以降は国家試験が課されることとなり、国家試験も視野に入れた取り組みを始めています。

平成37年には団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）となり、平成52年には高齢化率が3割を超えるとされています。今後の在宅介護時代のニーズに応えるべく、高度な医療知識と専門技術に裏打ちされた真の意味での「医療に強い介護福祉士」の養成を目指します。

学内での実習風景「こころとからだのしくみ」

公開講座・セミナーのご案内

詳細は、各施設のHP等でお知らせいたします。
枠内は学園祭と同時開催です。

川崎医科大学

◆かわさき夏の子ども体験教室2013
8月20日、21日9:00～15:15　**会場**現代医学教育博物館ほか　**対象**小・中学生(保護者同伴)　**定員**各日100名(計200名)　参加無料
問合せ先☎086-462-1111㈹ 広報連携室

市民公開講座

◆「疾病制圧に向けた大学の挑戦」
－川崎医科大学特別推進研究成果報告－
10月13日10:00～11:00(終了後「研究者と話そう(Meet the Researcher)」)　**講師**日野啓輔(肝胆膵内科学教授)、山辻知樹(総合外科学准教授)　**会場**校舎棟9階M-911教室
参加無料　事前申込不要
問合せ先☎086-462-1111㈹ 研究支援係

川崎医科大学附属病院

医学講演会

◆「気になる症状は画像でチェックしよう
－よくわかる画像診断－」
10月12日13:30～15:00　**講師**伊東克能(医科大学放射線医学(画像診断1)教授、附属病院放射線科(画像診断)部長)　**会場**現代医学教育博物館　**対象**一般　参加無料
問合せ先☎086-464-1164 病院庶務課

◆第13回Cancer Seminar
「がんの抗体療法を含む免疫療法」
6月15日13:30～16:00　**講師**山口佳之(臨床腫瘍科部長)、中山睿一(医療福祉大学医療福祉学部教授)、上田龍三(愛知医科大学医学部腫瘍免疫寄付講座教授)　**会場**現代医学教育博物館　**対象**医療従事者、一般
参加無料　申込必要
問合せ先☎086-462-1111㈹ 患者診療支援センター

川崎医科大学附属川崎病院

セミナー

◆ヘルスケアセミナー in 川崎病院
第3回「足の静脈瘤は切らずに治せ!」
7月13日14:00～16:00
講師森田一郎(外科副部長)
第4回「消化器がん!内視鏡治療はこれだ!」
9月7日14:00～16:00
講師後藤大輔(内科医長)
会場東館9階会議室　**対象**一般
定員30名　参加無料　申込必要
問合せ先☎086-225-2171 庶務係

◆せとうちクリニカル・ベストプラクティス・ミーティング
第3回「生活習慣病と認知症」
6月29日14:00～16:00
講師石原武士(心療科部長)
第4回「膝・スポーツ損傷」
7月6日14:00～16:00
講師阿部信寛(整形外科部長)
第5回「肺がんオーダーメイド治療
新しい分子標的薬」
9月28日14:00～16:00
講師瀧川奈義夫(内科部長)
会場東館9階会議室　**対象**医療・福祉関係者
定員30名　参加無料　申込必要
問合せ先☎086-225-2133 地域医療連携室

市民公開講座

◆第1回「消化管がんを克服する!～こんなに進歩した消化管がんの予防・診断と治療～」
6月8日14:30～16:30
講師山辻知樹(外科副部長)、羽井佐 実(外科副部長)、末廣満彦(内科医長)
会場岡山シンフォニーホール3階イベントホール
対象一般　**定員**180名　参加無料　申込必要
問合せ先☎086-225-2171 庶務係

◆第2回「難聴・耳鳴り・めまいの予防と治療～小児から高齢者に耳よりなお話～」
10月12日14:30～16:30
講師秋定 健(耳鼻咽喉科部長)、舘 俊廣(耳鼻咽喉科医長)、黒住司尾子(リハビリテーションセンター副主任)
対象一般　**定員**180名　参加無料　申込必要
問合せ先☎086-225-2171 庶務係

川崎医療福祉大学

教養講座(医療福祉講座)

◆「子どもたちの未来をささえるために」
－医療福祉の立場から－ 全5回
第2回 栄養の立場から
「子どもたちの成長を願う食育レッスン」
6月12日15:00～16:30
講師武政睦子(臨床栄養学科准教授)
第3回 福祉の立場から
「ちょっと気になる子どもたちの理解」
6月19日15:00～16:30
講師諏訪利明(医療福祉学科准教授)
第4回 学校保健の立場から
「健康な子どもは自分のことが好き」
6月26日15:00～16:30
講師難波知子(保健看護学科講師)
第5回 看護の立場から
「母乳育児のエビデンス」
7月10日15:00～17:00
講師池田理恵(保健看護学科准教授)
会場4602講義室　**対象**一般市民
参加無料　事前申込不要
問合せ先☎086-464-1021 公開講座係

公開セミナー

◆「中高年者のための水中運動」
10月8日、15日、22日、29日10:00～12:00
講師小野寺 昇(健康体育学科教授)
会場温水プール　**対象**一般　**定員**30名
参加費1回500円　**申込締切**セミナー各日の前日
問合せ先☎086-462-1111(内線54331)
健康体育学科実習室

講演会

◆「命に向き合うデザイン・心に寄り添うデザイン」
7月20日13:00～17:00
講師北原茂美(医療法人社団KNI 北原国際病院理事長)、下川一哉(日経BP社 日経デザイン編集長)、光野有次(でく工房理事長 プロダクトデザイナー)
会場川崎祐宣記念講堂　**対象**医療福祉関係者、教育関係者、一般、大学生

川崎医療短期大学

公開講座

◆第2回「からだの不思議
－存在する空間と働き－」
6月23日10:00～11:30
講師熊野一郎(看護科講師)
会場体育館 101教室　**対象**一般、高校生
定員200名　参加無料　申込必要
問合せ先☎086-464-1032 公開講座係

◆第3回「咳にまつわる都市伝説」
10月12日14:00～15:30
講師宮下修行(附属川崎病院内科副部長)
会場体育館 102教室　**対象**一般、高校生
定員200名　参加無料　申込必要
問合せ先☎086-464-1032 公開講座係
＊松丘会ホームカミングデー共催

専門外来紹介

頭痛外来

頭痛には片頭痛や緊張型頭痛など慢性のものから、脳腫瘍やくも膜下出血など生命に関わる重篤なものまで、いろいろな原因があります。

専門医による神経診察や脳MRI検査等により、正確な診断と適切な治療を行います。どうぞお気軽にご相談ください。

当院は日本頭痛学会認定頭痛専門医のいる医療機関です。

診察日:毎週月曜日13:30～16:00

附属病院　脳神経センター(神経内科)
086-462-1111(内線22700)

オープンキャンパス・学校説明会

※学園祭と同時開催

川崎医科大学

第1回　8月17日(土)10:00～
※第2回　10月12日(土)10:00～
問合せ先☎086-464-1012 教務課

川崎医療福祉大学

第1回　6月16日(日)10:00～14:00
第2回　8月 4日(日)10:00～14:30
第3回　9月 8日(日)10:00～14:00
※第4回　10月12日(土)・13日(日)10:00～14:00
第5回　平成26年3月21日(金・祝)13:00～16:00
問合せ先☎086-464-1004 入試課

川崎医療短期大学

第2回　6月23日(日)13:00～16:00
第3回　7月20日(土)・21日(日)13:00～16:00
第4回　8月18日(日)13:00～16:00
第5回　9月22日(日)13:00～16:00
※第6回　10月12日(土)・13日(日)9:00～15:00
問合せ先☎086-464-1033 教務課入試係

川崎医科大学附属高等学校

学校説明会:東京
6月16日(日)10:00～、14:00～
会場 ホテルニューオータニ
学校説明会:福岡
6月30日(日)14:00～
会場 ホテルセントラーザ博多
学校説明会:大阪
7月 7日(日)15:00～
会場 新大阪ワシントンホテルプラザ
学校説明会:本校
第1回　7月21日(日)10:00～
第2回　8月25日(日)10:00～
第3回　11月17日(日)10:00～
問合せ先☎086-462-3666 事務室

川崎リハビリテーション学院

第2回　7月27日(土)13:00～
※第3回　10月12日(土)13:00～
問合せ先☎086-464-1179 事務室

詳細は各施設のHPをご覧ください。

上記日程以外で個別に見学等をご希望の方は、各施設にお問い合わせください。

平成26年度入試情報

川崎医科大学

◆**特別推薦入試**　<中国・四国地域枠約15名、岡山県地域枠約5名>
▽一次選考＝11月16日 <一次合格発表＝11月22日>
▽二次選考＝11月30日 <二次合格発表＝12月6日>
（出願期間＝11月1日～11日）

◆**一般入試**　<募集人員約60名>
▽一次試験＝平成26年1月25日<一次合格発表＝1月28日>
▽二次試験＝平成26年1月31日又は2月1日<二次合格発表＝2月5日>
（出願期間＝12月9日～平成26年1月17日）

◆**大学院入試**　日程等未定　※決まり次第HPで公開します

川崎医療福祉大学

◆**AO入試**（医療福祉学科、臨床心理学科、医療福祉経営学科、医療秘書学科、医療福祉デザイン学科、医療情報学科のみ）
試験日＝9月15日、総合審査 10月上旬（出願期間＝8月14日～31日）
＜合格発表＝10月4日 募集人員84名＞

◆**特別入試・社会人特別選抜・帰国生徒特別選抜**
試験日＝11月3日（出願期間＝10月15日～23日）
＜合格発表＝11月8日 募集人員196名＞

◆**推薦入試**　試験日＝12月1日（出願期間＝11月11日～20日）
＜合格発表＝12月5日 募集人員170名＞

◆**一般入試前期**　試験日＝平成26年2月1日（出願期間＝1月6日～23日）＜合格発表＝2月7日 募集人員279名＞

◆**一般入試後期**　試験日＝平成26年3月16日（出願期間＝2月21日～3月5日）＜合格発表＝3月20日 募集人員32名＞

◆**センター試験利用入試前期**（大学入試センター試験のみ利用し、個別学力検査等は課さない）（出願期間＝平成26年1月6日～27日）
＜合格発表＝2月7日 募集人員62名＞

◆**センター試験利用入試後期**（大学入試センター試験のみ利用し、個別学力検査等は課さない）（出願期間＝平成26年2月21日～3月10日）
＜合格発表＝3月20日 募集人員33名＞

◆**編入学試験**　試験日＝8月30日（出願期間＝8月14日～21日）
＜合格発表＝9月6日 募集人員40名＞

◆**大学院入試 修士課程・博士後期課程1期**
試験日＝8月30日（出願期間＝8月14日～21日）
＜合格発表＝9月6日 募集人員修士59名、博士若干名＞

◆**大学院入試 修士課程・博士後期課程2期**
試験日＝平成26年2月20日（出願期間＝2月3日～10日）
<合格発表=2月27日 募集人員修士26名、博士17名>

川崎医療短期大学

◆**AO入試前期**（看護科、医療介護福祉科、医療保育科のみ）
試験日＝8月24日（出願期間＝8月1日～16日）
＜合格発表＝8月30日 募集人員57名＞

◆**AO入試後期**　試験日＝10月27日（出願期間＝10月1日～18日）
＜合格発表＝11月1日 募集人員45名＞

◆**推薦入試**（指定校・公募）　試験日＝12月1日（出願期間＝11月5日～25日）＜合格発表＝12月6日 募集人員107名＞

◆**一般入試前期**　試験日＝平成26年2月2日（出願期間＝1月7日～24日）＜合格発表＝2月7日 募集人員130名＞

◆**一般入試後期A**（大学入試センター試験を利用する試験）・**後期B**（本学入試問題による試験。看護科、医療介護福祉科、医療保育科のみ）
試験日＝平成26年3月17日（出願期間＝2月24日～3月8日）
＜合格発表＝3月19日 募集人員31名＞

川崎医科大学附属高等学校

◆**専願入試**　試験日＝平成26年1月19日（出願期間＝1月6日～16日）
＜合格発表＝1月22日 募集人員 約20名＞

◆**一般入試**　試験日＝平成26年2月16日（出願期間＝2月3日～13日）
＜合格発表＝2月19日 募集人員 約15名＞

川崎リハビリテーション学院

◆**推薦入試**（指定校・公募）　試験日＝12月1日(出願期間＝11月5日～25日）＜合格発表＝12月6日 募集人員17名＞

◆**社会人入試**　試験日＝12月1日（出願期間＝11月5日～25日）
＜合格発表＝12月6日 募集人員16名＞

◆**一般入試**　試験日＝平成26年2月2日（出願期間＝1月7日～24日）＜合格発表＝2月7日 募集人員17名＞

※平成25年5月現在の情報です。詳細は各施設のHPをご覧ください。

学園の今

「川崎学園だより」などから
（平成24年8月～平成25年5月）

◆次世代育成支援対策推進法に基づく「学校法人川崎学園行動計画・第三次計画」スタート(平成24年8月1日)

◆かわさき夏の子ども体験教室2012開催
応募件数1,229件、参加者数379名(同伴者を含め735名)(平成24年8月21日、22日)

◆現代医学教育博物館が「サイエンスアゴラ2012」(東京)に出展(平成24年11月10日、11日)

◆平成24年度就職状況
医療福祉大学 99.1%(平成23年度98.1%)
医療短期大学 99.6%(平成23年度99.3%)
リハビリテーション学院 100%(平成23年度100%)

◆附属病院ナースキャップ廃止(3月31日)

◆ふるさとの森リニューアルオープン(4月1日)

◆医科大学新入生保護者説明会を今年度新たに実施(4月8日)

◆ドクターヘリ運行5,000回到達(5月7日)

川崎医科大学附属川崎病院
新病院建設の進捗状況

埋蔵文化財の発掘調査風景

新病院建設予定地では、昨年2月に開始した小学校跡地の既存校舎の地上部分の解体工事はおおむね完了し、現在は埋蔵文化財の発掘調査を進めています。これまでに17～18世紀ごろの井戸跡、水琴窟跡、石組みの排水溝等の遺構及び全国各地で生産された陶磁器類などが確認されています。

また、附属川崎病院内では、各部門・部署のワーキンググループを立ち上げており、新病院の基本構想のもと、新しい業務・運用に基づいた建物内のレイアウトを検討しています。

新病院建築工事着工時期は、発掘調査終了予定の今年の秋を目指しています。患者さん及び職員にとってよりよい病院を作っていけるよう、職員一同、新病院開院まで日々努力していきます。

新病院建設予定地の整備状況（H25.4 現在）

KAWASAKI CLUB からのお願い

KAWASAKI CLUB では、年２回情報誌「KAWASAKI CLUB NEWS」をお届けいたします。住所変更・カード紛失等がございましたら、メールか電話にてお知らせください。

E-mail club@med.kawasaki-m.ac.jp
電　話 086-464-1546（いごよろしく）